

QVP⁺ 2026年度 全社方針書

株式会社ソディックは、グローバル企業として地球規模の環境課題、生産性を上げるために欠かせない IoTツールの情報セキュリティの確保に対する取り組み、お客様のモノづくりのニーズおよび課題解決に努め、お客様とを繋ぐソディック製品のライフサイクル全てに対し、目線を合わせサステナブルに取り組んでまいります。

主な製品としては放電加工機(電子ビーム含む)、マシニングセンタ、金属3Dプリンタ、レーザー加工機、射出成形機(マグネシウム／アルミ合金対応射出成形機も含む)、食品機械、植物性人工肉製造装置、また関連するリニアモータ、回転モータ、モータドライバ、CNC装置、モーションコントローラ、精密ステージ、これらに関連するシステムも含めた開発、設計、製造、販売、メンテナンスサービスをグローバルに展開しております。

また、株式会社ソディック エフ・ティ EMG事業部のセラミックス等の新素材の開発、設計、製造、販売およびサービスも関連しており、これらの製品に対して全社的に取り組みます。

1. マネジメントシステムを確立し、実施し、維持し、継続的な改善と汚染の予防を推進します。
2. 事業活動に関する適用可能な法的要件事項及び当社が同意したその他の要件事項を順守します。
3. 以下の項目を品質・環境・安全の各方針に対し、重点的に取り組みます。

＜品質方針＞

- 1) 世界競争力 No.1 の達成を目指し、顧客関係管理ソリューションを活用し、達成に向けての課題抽出と実現手段のデザイン、達成に向け取り組みます。
- 2) 技術力、マネジメント力、情報セキュリティの向上のため、ソディック製品についてのライフサイクルを加味した知識、規制・法令も含め、社員一人ひとりのスキル向上に取り組みます。
- 3) 海外工場を含めたグローバル品質情報の一元管理を実現し、誠実かつ迅速な対応による顧客満足の向上、品質向上、および緻密かつ確実な検証・変更管理等による不具合未然防止活動を推進します。
- 4) 顧客関係管理ソリューションやソディック製品で繋がるIIoT(Industrial Internet of Things: 産業用 IoT)などの情報資産の機密性、完全性、可用性を確実に確保するため、組織／人／物理／技術的に適切な管理策を策定し、実施します。

＜環境方針＞

- 1) ソディック製品のライフサイクル全ての段階の環境に配慮するため、気候変動や枯渇資源を加味した温室効果ガスの排出低減と3R(Reduce、Reuse、Recycle)+1R(Refuse)など循環型社会に貢献できる製品開発、生産体制に努めます。
- 2) 有害化学物質の管理システムでの全ての部材の包括管理の実現化により、有害化学物質の削減、全廃を目指し、国内外のお客様からの要求事項、規制・法令の理解と順守に努めます。

＜安全方針＞

- 1) ソディック製品に関わる全ての安全規格・法令を順守し、過去の経験およびそこから得た教訓を活かし、情報セキュリティリスクについてもお客様目線での製品リスクアセスメントを実践し、安全志向の製品づくりとお客様の安全指導、労働安全衛生の観点からSDS通知・表示義務・保護具の着用を周知し、順守状況のモニタリングに努めます。
 - 2) 社員一人ひとりが健康への意識向上に向けた取り組みの実践と労働災害ゼロを目指します。
4. この方針を具体的に推進するために、目的・目標を設定し、定期的に見直し、継続的に改善活動を実行します。また、その改善活動の有効性についても確認し、確実な活動の推進を実行します。
 5. この方針書を文書化し、全従業員および常駐する外部社員への教育を実施し、各方針の理解と意志向上に取り組みます。
 6. この方針書は、一般に公開するとともに、社外からの要求に応じて公表します。

2025年12月1日制定

株式会社ソディック
代表取締役会長

古川健一